

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		福岡工業大学（大学院研究科・専攻等の課程）		設置者名		学校法人福岡工業大学			
研究科・専攻等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況（令和4年度）			
学部	学科等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
							実数	個別	
工学研究科	電子情報工学専攻	平成5年度	8人	高専免（工業）	平成6年度	9人	0人	0人	0人
	生命環境化学専攻	平成21年度	8人	中専免（理科）	平成25年度	4人	0人	0人	0人
				高専免（理科）	平成16年度			0人	
	知能機械工学専攻	平成5年度	8人	高専免（工業）	平成6年度	12人	0人	0人	0人
	電気工学専攻	平成5年度	8人	高専免（工業）	平成6年度	8人	0人	0人	0人
情報工学専攻	平成6年度	10人	中専免（数学）	平成13年度	11人	0人	0人	0人	
			高専免（数学）	平成13年度			0人		
情報通信工学専攻	平成16年度	8人	中専免（数学）	平成16年度	9人	0人	0人	0人	
			高専免（数学）	平成16年度			0人		
情報システム工学専攻	平成28年度	8人	高専免（情報）	平成28年度	11人	0人	0人	0人	
システムマネジメント専攻	平成28年度	6人	高専免（情報）	平成28年度	0人	0人	0人	0人	
入学定員合計			64人	合計		64人	0人	0人	0人
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「学部・学科等の名称等」欄は、令和5年4月1日現在の名称・定員を記載してください。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数を記載してください。 								

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		福岡工業大学（学部・学科等の課程）			設置者名	学校法人福岡工業大学			
学部・学科等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況（令和4年度）			
学部	学科等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
							実数	個別	
工学部	電子情報工学科	昭和38年度	90人	高一種免（工業）	平成14年度	92人	0人	0人	0人
	生命環境化学科	平成17年度	90人	中一種免（理科）	平成22年度	90人	10人	8人	6人
				高一種免（理科）	平成17年度			10人	
				高一種免（工業）	平成17年度			3人	
	知能機械工学科	昭和40年度	110人	高一種免（工業）	平成12年度	109人	1人	1人	0人
電気工学科	昭和41年度	90人	高一種免（工業）	平成12年度	80人	2人	2人	1人	
情報工学部	情報工学科	平成9年度	130人	中一種免（数学）	平成14年度	140人	6人	6人	5人
				高一種免（数学）	平成14年度			6人	
				高一種免（情報）	平成14年度			2人	
	情報通信工学科	平成9年度	90人	中一種免（数学）	平成14年度	89人	0人	0人	0人
				高一種免（数学）	平成14年度			0人	
				高一種免（情報）	平成14年度			0人	
	情報システム工学科	平成9年度	90人	中一種免（数学）	平成14年度	86人	5人	4人	0人
				高一種免（数学）	平成14年度			4人	
				高一種免（情報）	平成14年度			2人	
	システムマネジメント学科	平成9年度	65人	中一種免（数学）	平成14年度	66人	2人	2人	0人
高一種免（数学）				平成14年度	2人				
高一種免（情報）				平成14年度	2人				
社会環境学部	社会環境学科	平成13年度	160人	中一種免（社会）	平成13年度	183人	4人	4人	0人
				高一種免（公民）	平成13年度			4人	
入学定員合計			915人	合計		935人	30人	62人	12人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、令和5年4月1日現在の名称・定員を記載してください。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数を記載してください。								

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：令和5年11月30日（木）実地
実地視察大学：福岡工業大学

【全般的事項】

○教員養成に関する教育課程、教育研究実施組織等については、一部是正が必要な箇所はあるものの、全般的には基準を概ね満たしており、良好に実施されている。引き続き、教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○「教職の意義、教育の原理及び人間の発達を理解し、将来の教育者としての専門的知識、方法技術さらに実践的能力を高めるとともに、使命感及び倫理観と教育的愛情を育む人材の養成」という理念・構想が示されているが、それを明確化・具体化するための教職課程に対する全学的な組織、教育課程及び教育研究実施組織をより一層充実させるように今後も努めていただきたい。

2. 教育課程、履修方法及びシラバスの状況、教育研究実施組織

○各教科の指導法の科目について、教職課程コアカリキュラムを満たしていないものが一部見受けられた。シラバスが教職課程コアカリキュラムを満たしているかの確認については、非常勤講師が担当している科目も含め、質保証を担保する体制を検討いただきたい。

3. 教育実習の取組状況

○全ての教育実習先に対し教職担当教員をはじめ、各学部・学科の教員が巡回指導を行うなど、きめ細やかな教育実習指導が行われている状況が確認された。
○「教育実習Ⅰ・Ⅱ」の事前指導において、指導案の作成や模擬授業の実施の指導を丁寧に行っている点について評価できる。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

○学部学科等によってばらつきがあった教員を目指す学生の案内や指導について、今後は1年生の5月頃に情報提供を行うとのことであるが、引き続き、学生に対して様々な教職志向性を高める取組の工夫を行っていただきたい。
○履修カルテについて、大学の特性も活かし、電子化等も含めてより一層の活用を検討いただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

○地域の学校等における「学生サポーター」等への取組の実績は確認できたが、今後、教育委員会等と一層連携し、学生が早期の段階から学校現場に触れる機会を増やしていくことを期待したい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

○ICT 関連の教室、実験室、図書館など、施設・設備については十分な環境整備がなされていた。なお、教育系の図書や雑誌、教科書等は教職課程の専任教員の研究室に置かれているとのことであったが、図書館に配架するなどして、学生が必要な時にいつでも手に取れるような環境を検討いただきたい。

7. その他特記事項

○アクティブラーニングの理念が全学的に浸透していることから、それを実現できるようなスペースが学内の至るところに数多く存在しており、学習環境が充実している。